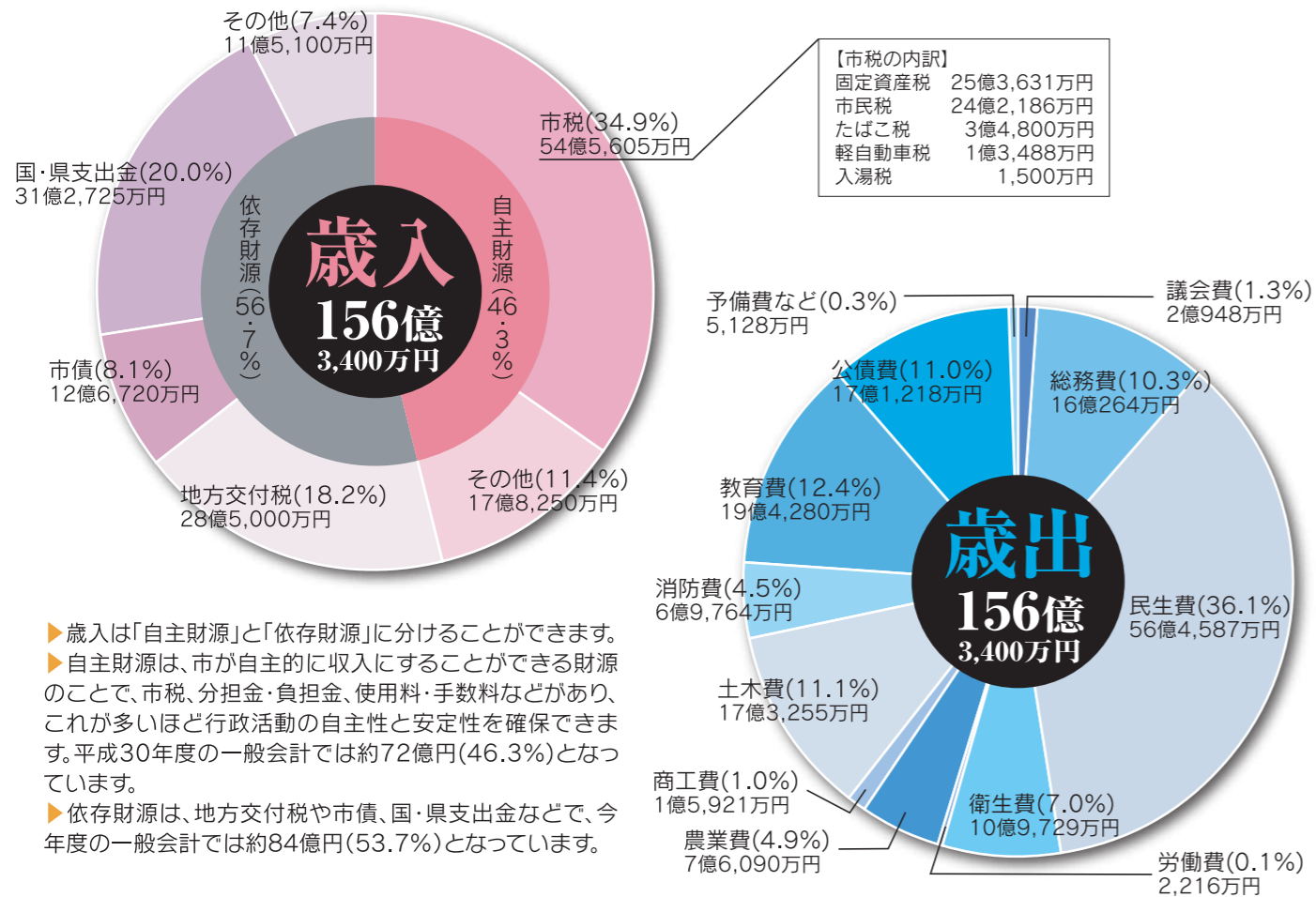


# 一般会計予算156億3,400万円の使いみち



▶歳入は「自主財源」と「依存財源」に分けることができます。  
 ▶自主財源は、市が自主的に収入にすることができる財源のことで、市税、分担金・負担金、使用料・手数料などがあり、これが多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。平成30年度の一般会計では約72億円(46.3%)となっています。  
 ▶依存財源は、地方交付税や市債、国・県支出金などで、今年度の一般会計では約84億円(53.7%)となっています。



平成30年第1回市議会定例会(3月議会)で、平成30年度当初予算が決まりました。平成30年度当初予算は、3月に市長選挙が行われたことから、義務的経費や継続的経費を中心とした「骨格予算」として編成しています。政策的な経費は、第2回市議会定例会(6月議会)へ補正予算として提案し、当初予算に追加で盛り込まれる予定となっています。

平成30年度当初予算の一般会計予算額は156億3,400万円で、前年比1.7%の減。今年度は「骨格予算」となっていますが、4月から実施することで効果のある教育・子育て事業や、前年度までに実施が決まっている将来のまちづくりに関連する事業などは当初予算で計上しています。一般会計と特別会計・水道事業会計を合わせた予算の総額は272億4,038万円で前年比5.0%の減となっています。

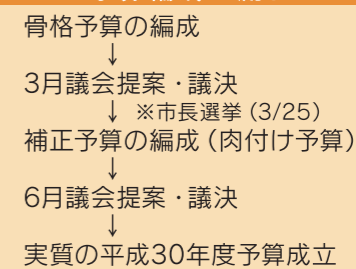
区分	今年度予算額	前年度予算額	増減率(%)
一般会計(1)	156億3,400万円	159億1,000万円	▲1.70
特別会計			
国民健康保険	52億9,500万円	65億2,200万円	▲18.8
後期高齢者医療	4億1,200万円	3億7,300万円	10.5
介護保険	33億4,000万円	32億6,900万円	2.20
介護サービス事業	600万円	570万円	5.30
下水道事業	10億600万円	9億9,600万円	1.00
砂沼サンビーチ	1億7,800万円	1億7,700万円	0.60
計(2)	102億3,700万円	113億4,270万円	▲9.70
水道事業会計(3)	13億6,938万円	14億1,820万円	▲3.40
合計(1)+(2)+(3)	272億4,038万円	286億7,090万円	▲5.00

## 骨格予算とは

予算は、本来、その年度のすべての歳入・歳出で編成されるものです。しかし、市長選挙などが行われる場合は、政策的な判断が難しくなることから、政策的な経費を極力抑え、義務的経費や継続的業務を中心に編成された予算をいい、慣例的に「骨格予算」と呼んでいるものです。

新規事業や投機的経費など「政策的経費」は、3月25日の市長選挙後、新市長の施政方針に基づき、補正予算(肉付け予算)で計上します。

## 予算編成の流れ



## 平成30年度予算の概要

主な事業とその予算額を、市総合計画の6つの柱に基づき紹介します。

標記: ○新規 ○拡充 ◇継続  
 ※表示金額は、万円未満を四捨五入して表示しています

### 誰もが健やかに暮らせる「安心なまち」

【子育て、医療、社会福祉の充実】

- 第2期子ども・子育て支援計画策定事業 355万円
- 子どものための教育・保育給付事業 8億3,969万円
- 妊産婦・乳児健康診査事業、産後ケア事業 3,755万円
- 健康ポイント事業 372万円
- 禁煙外来治療費助成事業 15万円
- 子どもの学習支援事業 15万円
- 第3期障害者計画策定事業 370万円



子育て世代の交流を図る「遊びの広場」

### 人と文化を育む「心豊かなまち」

【子育て、医療、社会福祉の充実】

- 英語検定料補助事業 93万円



先進的な取り組みを推進する市の英語教育

### にぎわいと活気を生み出す「活力あるまち」

【観光、産業の振興】

- 総上・豊加美地区農道整備事業負担金 600万円
- 買い物お助け隊事業補助 100万円

### 環境にやさしく災害に強い「安全なまち」

【生活環境の向上】

- 街頭防犯カメラ設置事業 240万円
- 鬼怒・小貝水防連合体水防訓練 175万円
- 工業団地アクセス道路整備事業 3,850万円
- 環境配慮型新エネルギー設備導入事業補助 50万円

### 自然と都市が共生する「快適なまち」

【都市基盤の整備】

- 小貝川ふれあい公園施設更新工事 200万円

### 市民と共に次の世代を築く「自立したまち」

【市民協働、行財政運営の確立】

- ◇庁舎等施設建設基本計画策定事業 1,851万円